

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 4 月 12 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '石材関連イベント支援事業' and '商工業の振興'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about '石材関連イベントの支援'.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段, ④活動指標, ②対象, ⑤対象指標, ③意図, ⑥成果指標. Includes data for '会議の開催回数', 'イベント実施回数', '出店事業者', '来場者数', '成約件数'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts for 27, 28, 29, 30, 31 years. Includes categories like '国庫支出金', '県支出金', '地方法債', '使用料・手数料', 'その他', '一般財源', '事業費計(A)', '正規職員従事人数', '述べ業務時間', '人件費計(B)', 'トータルコスト(A)+(B)'.

Table showing 28年度事業費実績 (千円) and 29年度事業費予算 (千円). Includes '19 負担金補助及び交付金' and '合計'.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 3 columns: 29年度の事業内容, 30年度の事業内容, 31年度の事業内容. Includes details about '産地PR・販路拡大イベントの支援'.

事務事業名	石材関連イベント支援事業	事務事業No.	50203000543	所属課	商工観光課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	石材及び石材製品のPRと販路拡大及び産地ブランドの確立を目指して開始された。 大和の石まつり：平成元年 いばらきストーンフェスティバル：平成10年 両イベントとも出店業者が減少、催事内容もマンネリ化し集客が伸び悩んでいる。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	いばらきストーンフェスティバルの桜川市開催 議両イベントの統合 補助金の維持
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	県、笠間市と協力して実施する事業であり、桜川市単独で方針を決められない部分がある。
改革改善を行う	

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 石材業のPR、販路拡大につながるイベントであり、市の政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 石材産地をPRし地域経済を回すことが目的である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある イベント内容を見直すことにより来場者及び成約件数を伸ばすことができる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 イベントの縮小・廃止となる可能性が高く、広く石材製品をPRする場を失う。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 特に無し
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 補助金の依存度が高い。販売実績に応じて補助金を見直す必要あり。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 石材産地をPRする実行委員会への負担であり、公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	大和の石まつりは他市においてイベントの少ない6月上旬に開催したため、集客の増となった。商談件数も300件となり、工夫の変化が見られた。いばらきストーンフェスティバルは笠間陶芸の丘にて他のイベントと連携して行うため、来場者は多く石材産地のPRには大きく貢献している。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	○																						
	維持																							
	低下																							
両イベントとも事業費に占める補助金の割合が高く、売上等による自主財源の増を図る。	(6) 事務事業優先度評価結果																							
	成果優先度評価結果																							
	コスト削減優先度評価結果																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> A B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>